



ヤフー株式会社

2010年度 第4四半期および通期  
決算説明会

2011年4月22日

YAHOO!  
JAPAN

**本説明会および参考資料の内容には、将来に対する見通しが含まれている場合がありますが、実際の業績は様々な要素により、これら見通しと大きく異なる結果となり得ることをご了承ください。**

**会社の業績に影響を与え得る事項の詳細な記載は「平成23年3月期 決算短信」の「事業等のリスク」にありますので、ご参照ください。但し、業績に影響を与え得る要素は「事業等のリスク」に記載されている事項に限定されるものではないことをご留意ください。**

**2010年度より、報告セグメントを「メディア事業」「BS事業」「コンシューマ事業」に変更しています。  
尚、2009年度のセグメント別売上高の数値は遡及修正によるものです。**

**本資料・データの無断転用はご遠慮ください。**



## 2010年度 業績総括

2009年度の業績は景気低迷の影響を大きく受けたが、2010年度は広告事業を中心に急速に回復した。

リサーチ関連事業の移管等による減収があったにも関わらず、売上高・利益とも14期連続で過去最高を達成した。

単位：億円

	2009年度	2010年度	前年度比
売上高	2,798	2,924	4.5%
営業利益	1,438	1,596	11.0%
経常利益	1,433	1,602	11.8%
当期純利益	835	921	10.4%



## 2010年度業績総括-事業セグメント別

### ■ メディア事業

年度を通じて広告関連売上が順調に推移した。  
リサーチ関連事業の移管等による減収があったものの、メディア事業売上高は前年度を上回った。

### ■ BS事業

リスティング広告を中心に売上が増加した。  
景気後退時に大きく減少した求人、不動産関連の情報掲載料収入も回復基調にあり、BS事業売上高は前年度を上回った。

### ■ コンシューマ事業

ショッピング関連、ゲーム関連売上高等が増加した。  
減収傾向にあったオークション取扱高が年度後半に入って下げ止まりの兆しを見せたものの、コンシューマ事業売上高は前年度を下回った。

単位: 億円

	2009年度	2010年度	前年度比
メディア事業	1,022	1,102	7.8%
BS事業	714	767	7.5%
コンシューマ事業	1,053	1,049	-0.4%





## 2010年度第4四半期業績総括

リスティング広告、ディスプレイ広告を中心に、  
四半期売上高が増加した。

売上高および営業・経常利益が過去最高となった。

単位：億円

	2009年度 第4四半期	2010年度 第4四半期	前年 同四半期比
売上高	732	757	3.5%
営業利益	387	423	9.5%
経常利益	386	427	10.4%
四半期純利益	233	243	4.3%

YAHOO!  
JAPAN

# Y! 2010年度第4四半期 メディア事業

## 広告会社経由リスティング広告

(検索連動型広告「スポンサードサーチ」・興味関心連動型広告「インタレストマッチ」)

- 売上高が前年同四半期比・前四半期比ともに増加し、過去最高となった。
- 景気の回復にともない、人材サービス関連や交通・レジャー関連企業の出稿が大きく増加した。またファッション・アクセサリ関連や百貨店・通販・ショッピングモール等の出稿も拡大した。
- モバイル向け商品はインターネット情報関連企業の出稿の寄与により売上高が増加した。

### 【震災の影響】

一部のページにおける広告を震災直後から一定期間非掲載とする措置をとった。また、利用者によるクリックの減少等が見られ、売上高に影響した。

単位: 億円

メディア事業	2009年度 第4四半期	2010年度 第4四半期	前年同四半期比
売上高	282	300	6.2%
営業利益	147	165	12.4%

# Y! 2010年度第4四半期 メディア事業

## ディスプレイ広告

- 売上高が前年同四半期比・前四半期比ともに増加し、過去最高となった。
- 「ブランドパネル」は好調なモメンタムの継続により出稿が拡大し、売上高が前年同四半期比・前四半期比ともに増加した。過去最高の売上高となった。
- ターゲティング商品売上高が前年同四半期比・前四半期比ともに増加し、過去最高を更新した。
- モバイル向け商品はインターネット情報関連企業の出稿が大きく増加し、売上増に貢献した。
- スマートフォン向け商品は自動車関連、ファッション関連の企業からの出稿が好調に推移した。「GyaO!」アプリ内での大手広告主とのタイアップ広告を実施した。(株)GyaOは通年での黒字化も達成した。

### 【震災の影響】

一部のページやスマートフォンにおける広告を震災直後から一定期間非掲載とし、震災関連情報のバナーを掲載する措置をとった。

また、非掲載措置を行わなかった「ブランドパネル」等においても広告主による出稿自粛等があり、震災関連情報のバナーを掲載したことも売上高に影響した。



# 2010年度第4四半期 BS事業

## オンライン経由リスティング広告 (検索連動型広告「スポンサードサーチ」・興味関心連動型広告「インタレストマッチ」)

- リスティング広告の認知・啓発を目的とした全国主要都市でのセミナー開催やオンラインセミナーの開催、代理店増加が寄与し、売上高が前年同四半期比・前四半期比ともに増加した。

## データセンター関連収入

- (株)IDCフロンティアのクラウドコンピューティング関連売上高が増加した。

## 情報掲載料収入

- 「Yahoo!不動産」「Yahoo!リクナビ」売上高が前年同四半期比・前四半期比ともに増加した。

### 【震災の影響】

\*リスティング広告: 一部のページにおける広告を震災直後から一定期間非掲載とする措置を取った。また、利用者によるクリックの減少等が見られたことも売上高に影響した。

\*データセンター関連: 震災後、データセンターの分散化への関心が高まり、引き合いが増加した。

単位: 億円

BS事業	2009年度 第4四半期	2010年度 第4四半期	前年同四半期比
売上高	187	199	6.7%
営業利益	92	106	16.2%





# 2010年度第4四半期 コンシューマ事業

## コマース関連(「Yahoo!オークション」・「Yahoo!ショッピング」・有料デジタルコンテンツ)

- 年末年始の販促企画やポイントキャンペーン、スマートフォン・スマート패드経由の利用促進のポイントキャンペーン等を積極的に実施した。
- 東日本大震災後は販促キャンペーン等を自粛し、「Yahoo!オークション」におけるチャリティーオークションの実施、「Yahoo!ショッピング」における支援ギフト便の提供等を行った。
- 「戦国IXA」「Yahoo!モバゲー」等の新サービスを中心に有料デジタルコンテンツの売上高が増加した。

## 「Yahoo!プレミアム」会員費収入

- 2011年3月末のプレミアム会員ID数は768万IDとなった。

### 【震災の影響】

- \*コマース関連: テレビCMを含めた年度末大型キャンペーン中止も取扱高減少の理由となった。
- \*有料デジタルコンテンツ関連: 震災直後はゲーム等の利用が減少したが、その後回復した。
- \*プレミアム会員: 新規加入キャンペーン取りやめ等により、入会者が減少した。
- \*被災地域のストアおよび「Yahoo!ウォレット」利用者への3月分の請求を一時停止し、売上計上を留保した。

単位: 億円

コンシューマ事業	2009年度 第4四半期	2010年度 第4四半期	前年同四半期比
売上高	260	257	-1.3%
営業利益	168	156	-7.4%





# 東日本大震災発生後の対応

インターネット  
サービス提供者  
として

- ❑ 災害プロジェクトを発足。専任チームが24時間体制で災害関連・復興支援情報を提供。  
「Yahoo! JAPAN」トップページを中心に必要な情報を集約・掲載。  
3月12日から18日の総ページビュー数が前年同期比で30%以上増加。
- ❑ 地震・津波情報ページ立ち上げ。
- ❑ 震災情報・復興支援情報ページの提供。 PC・Mobile
- ❑ 避難所やライフラインの情報をまとめた被災地別支援情報サイトの提供。 PC・Mobile
- ❑ 主要言語に対応した節電・停電情報の提供、視覚化した独自の電力使用状況メーターの「Yahoo! JAPAN」トップページへの掲載。 PC・Mobile
- ❑ 首相官邸ホームページ等、公共機関および公共性の高いウェブサイトのキャッシュサイト提供。
- ❑ Yahoo!トピックスにおいて原発の最新情報提供ページを開始。
- ❑ 総務省からの啓発呼びかけを受け、チェーンメールへの注意喚起を掲出。
- ❑ 震災の記録を写真で残す「東日本大震災写真保存プロジェクト」を開始。

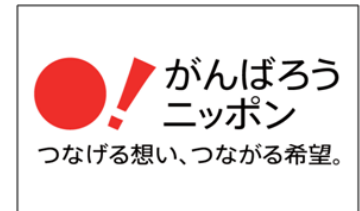


# 東日本大震災発生後の対応

インターネット  
サービス提供者  
として

一企業として

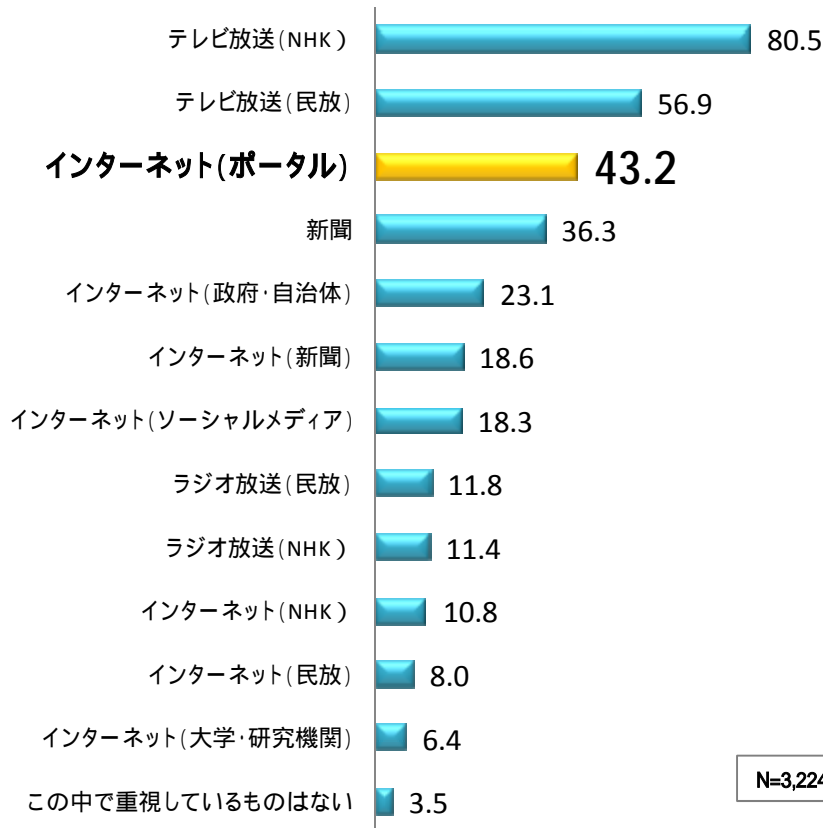
- ✓ Yahoo!基金でのインターネット募金を開始。わずか6日間で10億円達成。
- ✓ Yahoo!ショッピングにおいて、被災地に支援物資を届ける「支援ギフト便」を提供。
- ✓ Yahoo!オークションにおいて「東日本大震災チャリティーオークション」を開始。
- ✓ GyaO!でのエンターテインメントコンテンツの提供を通じて被災者を応援するチャリティープロジェクト「REPLAY JAPAN」の提供開始。
- ✓ 震災で「週刊少年ジャンプ」を読み逃した利用者向けに無料配信を実施。
- ✓ 義援金3億円を寄付(4Q計上分は2億円のみ)。
- ✓ 復興支援の決意表明として「つなげる想い、つながる希望。がんばろう ニッポン！」をスローガンに設定。
- ✓ Yahoo!基金での壁紙購入に対する消費税相当額を当社が追加。



# Y! インターネットメディアの重要性が向上

(株)野村総合研究所が震災後に行った調査によると、インターネットポータルメディアとしての重要性・信頼度が大きく向上した。

震災に関する情報提供で、重視しているメディア・情報源(複数回答)



震災関連の情報に接して、「信頼度が上昇した」という回答比率



# Y! 2011年度より月次開示を四半期開示に集約

## 四半期開示に集約する理由

- 決算発表時に収益状況と合わせて開示することにより、事業の状況を正しく理解していただくため
- 月次で開示している指標と収益との相関関係が低いため
- 各指標の月次変動が事業のトレンドに与える影響が軽微であるため

## 【四半期開示予定項目】

項目(四半期平均)	2010年1-3月	2011年1-3月
Yahoo! JAPAN 月間総ページビュー数 (百万PV)	44,785	49,564
モバイルフォン 月間ページビュー数 (百万PV)	6,801	9,273
Yahoo! JAPAN 月間ユニークブラウザ数 (百万ブラウザ)(1)	201.09	222.40
Yahoo! JAPAN 月間アクティブユーザーID数 (百万ID)(2)	24.09	25.11
Yahoo!プレミアム会員ID数 (四半期末)(百万ID)	7.59	7.68

(1) 各月中に当社サービスにアクセスしたブラウザ数

(2) 各月中にログインしたYahoo! JAPAN ID数

# Y! 2011年度より月次開示を四半期開示に集約

## 【四半期開示予定項目-続き】

項目 (四半期平均)	2010年1-3月	2011年1-3月
<b>Yahoo!オークション</b>		
月間ユニークブラウザ数 (百万ブラウザ)	36.81	36.79
ストア数 (四半期末)(店舗)	17,093	17,344
取扱高(四半期計)(億円)	1,702	1,657
落札単価 (円)	4,812	4,876
落札率 (%)	15	13
<b>ショッピング関連</b>		
月間ユニークブラウザ数 (百万ブラウザ)	33.97	37.47
ストア数 (四半期末)(店舗)	17,352	20,290
取扱高(四半期計)(億円) (1)	637	671
<b>Yahoo!オークション+ショッピング関連</b>		
取扱高(四半期計)(億円)	2,340	2,328
モバイル取扱高(四半期計)(億円) (2)	394	520

(1) 「Yahoo!ショッピング」、「Yahoo!チケット」、「Yahoo!トラベル」を含む。

(2) 「Yahoo!オークション」モバイル取扱高は、従来、最終入札がモバイル経由の場合のみ集計していましたが、2011年1月より、モバイル経由の入札を全て集計するよう定義を変更しました。尚、過去のデータは遡及修正していません。

**YAHOO!**  
JAPAN



## 2010年度第4四半期レビュー

3月初旬までは広告、ショッピング関連および有料デジタルコンテンツ売上が非常に好調に推移していた。しかし、震災対応のため広告を一部非掲載としたこと、eコマース取扱高や「Yahoo!プレミアム」の新規加入会員数が大きく低下したこと、更に被災地域への請求の一時停止等の措置を取ったこと等を反映し、売上高は見通しのレンジの中間値を若干上回るにとどまった。

一方、3月終盤に予定していた大型キャンペーンやその他プロモーション活動を中止したこと、(株)IDCフロンティア株式取得時の税務処理が更正され、当四半期ののれん償却額がマイナス6億円程度となったこと等により、営業利益は見通しの上限を大きく上回った。

尚、四半期純利益は義援金等の支出があったことにより、見通しのレンジ内に収まった。

単位: 億円

	実績	四半期見通し (2011年1月25日時点)
売上高	757	734 ~ 772
営業利益	423	391 ~ 414
経常利益	427	392 ~ 415
四半期純利益	243	231 ~ 245





# 2011年度第1四半期見通し

広告、ショッピング関連および有料デジタルコンテンツを中心に 売上高の増加を目指す。

震災の影響がどの程度となるか現状では不透明であるものの、  
影響は短期的と考えた上で将来の成長のための投資を引き続き行う。

特に、販売促進費、開発のための業務委託費等については、  
引き続き増加することを見込んでいる。

単位: 億円

	2010年度 第1四半期 (実績)	2010年度 第4四半期 (実績)	2011年度 第1四半期 (見通し)
売上高	705	757	704 ~ 739
営業利益	376	423	373 ~ 396
経常利益	375	427	377 ~ 400
四半期純利益	216	243	222 ~ 236

- 当グループを取り巻く事業環境は短期的に大きく変動する可能性があり、通期の業績見通しについて頼性の高い数値を算出することは極めて困難であると考えています。従いまして、当グループは四半期ごとの業績発表に併せて翌四半期の業績見通しのみを公表することとしています。



# 2010年度通期決算

## 当期末の主な連結子会社

(株)IDCフロンティア

(株)GyaO

(株)ネットラスト

ヤフーカスタマーリレーションズ(株)

ワイズ・スポーツ(株)

(株)インディバル

(株)シリウステクノロジーズ

ファーストサーバ(株)

ワイズ・インシュアランス(株)

## 当期末の持分法適用会社

(株)Eストアー

オリコンDD(株)

(株)クレオ

(株)たびゲーター

フォートラベル(株)

(株)オールアバウト

(株)クラシファイド

JWord(株)

バリューコマース(株)

(株)マクロミル



## 2010年度通期損益計算書

	2009年度	2010年度	前年度比
売上高 (億円)	2,798	2,924	4.5 %
売上原価 (億円)	326	292	-10.3 %
売上総利益 (億円)	2,472	2,631	6.4 %
販管費 (億円)	1,033	1,035	0.1 %
営業利益 (億円)	1,438	1,596	11.0 %
経常利益 (億円)	1,433	1,602	11.8 %
当期純利益 (億円)	835	921	10.4 %
完全希薄化後 EPS (円)	1,437	1,588	10.5 %
完全希薄化後株式数 (万株) *	5,812	5,802	-0.2 %

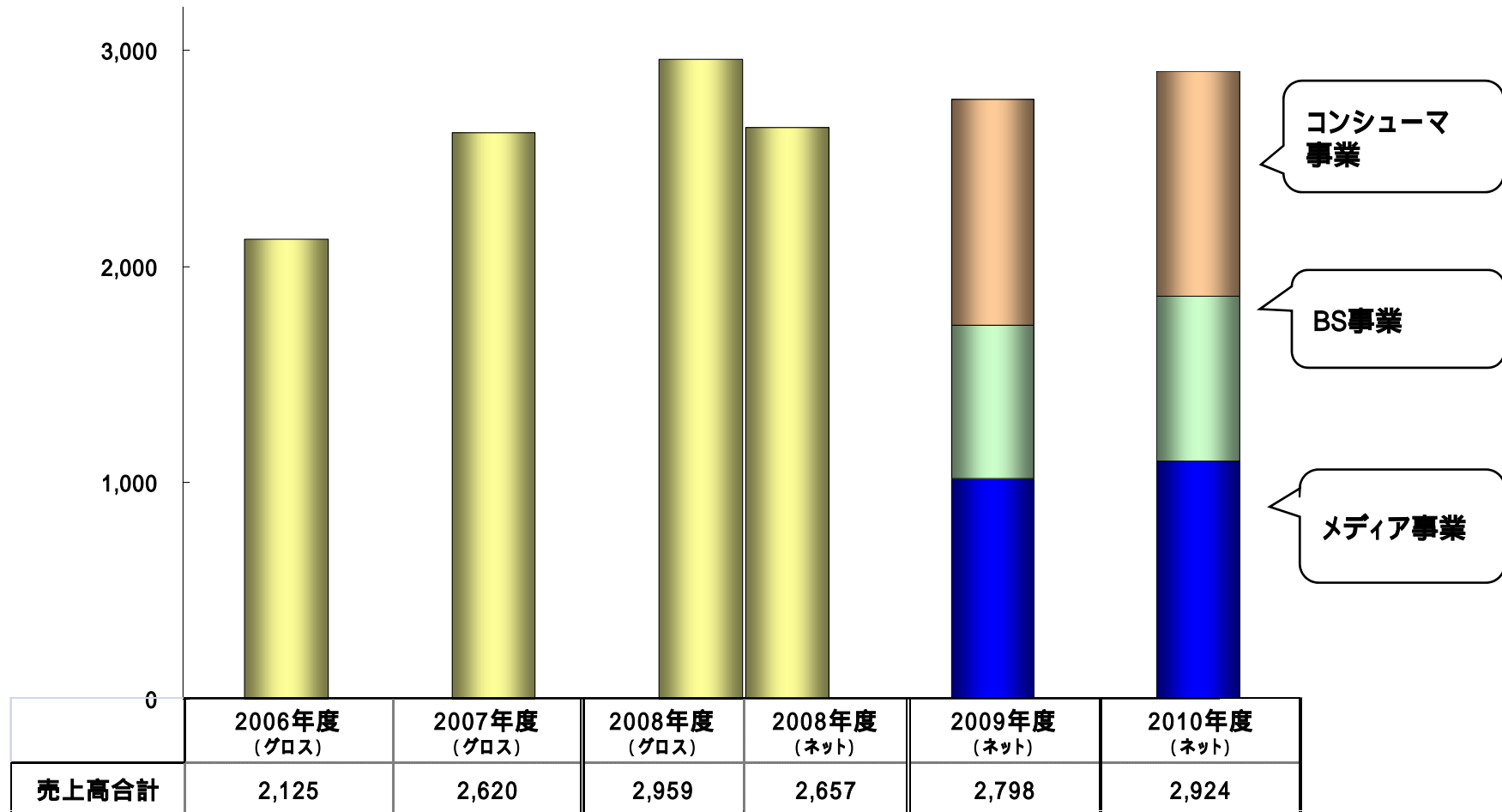
\* 完全希薄化後株式数は自己株式を除いています。



# 通期売上高推移

売上高がサービス開始以来14期連続増加

単位:億円



2008年度より、売上原価および販管費の一部の科目を差し引いた売上高のネット表示を行っています。  
そのため、2008年度のグロス表示は参考値です。

2010年度より、報告セグメントを「メディア事業」「BS事業」「コンシューマ事業」に変更しています。  
そのため、2009年度のセグメント別売上高の数値は遡及修正によるものです。

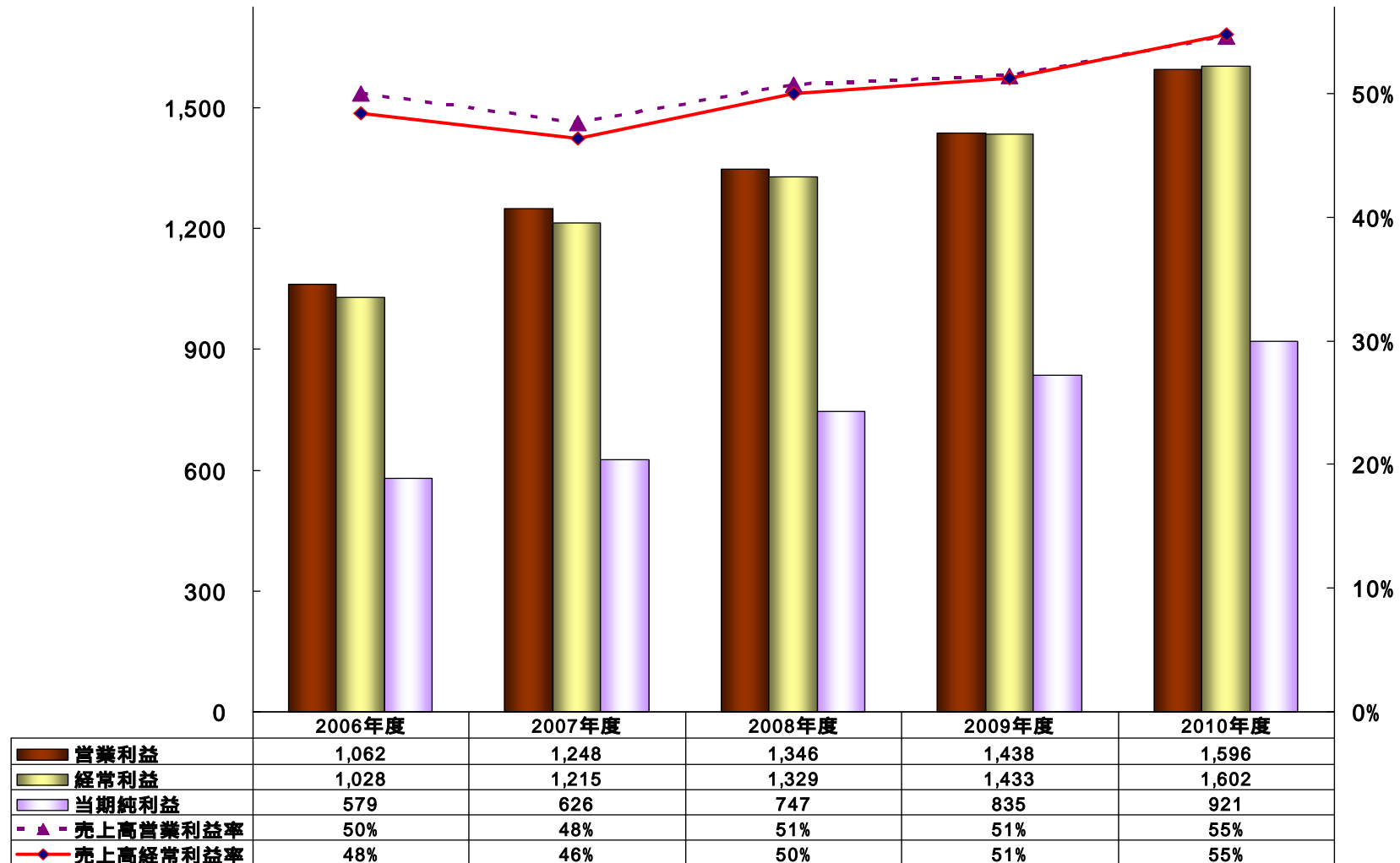




# 通期利益の推移

営業・経常・当期利益がサービス開始以来14期連続増加

単位: 億円



2008年度以降の各利益率は売上高をネット表示に変更したことによる影響を受けています。





# 2010年度通期収益内訳

単位: 億円

	売上高	主な内訳		売上 総利益	販管費	営業利益	経常利益	営業 利益率	経常 利益率
メディア事業	1,102	広告関連 その他	96% 4%	985	394	590	594	53.6%	53.9%
BS事業	767	広告関連 法人向けサービス 情報掲載サービス	63% 25% 12%	612	227	385	387	50.2%	50.5%
コンシューマ 事業	1,049	コマース関連 会員サービス その他	56% 35% 9%	1,030	348	682	680	65.0%	64.9%

\*各セグメント売上高に含まれる商品項目については、P42をご参照ください。





# 販管費構成推移(通期)

単位: 億円

	2009年度	2010年度	構成比	前年度比 増減額	前年度比 増減率
人件費	303	318	30.7%	14	4.8%
業務委託費	127	134	13.0%	6	5.1%
減価償却費	89	85	8.3%	-4	-4.5%
ロイヤルティ	80	84	8.2%	4	5.0%
通信費	93	83	8.1%	-10	-11.1%
販売促進費	72	75	7.3%	2	3.9%
情報提供料	67	63	6.2%	-3	-5.7%
賃借料・水道光熱費	61	62	6.0%	0	1.3%
販売手数料	43	46	4.5%	3	8.0%
広告宣伝費	11	25	2.4%	13	116.6%
維持管理費	23	20	2.0%	-2	-11.4%
租税公課	14	13	1.3%	-1	-8.7%
貸倒引当金繰入額	6	6	0.6%	-0	-8.5%
支払報酬	2	4	0.4%	1	54.8%
事務用品費	2	3	0.3%	1	47.9%
その他	31	7	0.8%	-24	-75.5%
販管費合計	1,033	1,035	100.0%	1	0.1%

主な前年度比増減要因

2011年3月末の従業員数は4,748名  
(前年同月末比2.7%減)

データセンターの自己保有により  
運用体制が効率化

テレビCMの実施

(株)IDCフロンティアの税務処理の  
更正処分に伴うのれんの減額修正





# 2010年度貸借対照表

主な科目	2010年3月末	2011年3月末	増減	主な増減要因	単位:億円
<b>&lt; 資産の部 &gt;</b>					
流動資産	2,033	2,525	492	営業活動による増加	
現金及び預金	1,392	1,886	494		
売掛金	373	369	-4		
その他	212	228	15	「Yahoo!ショッピング」の決済サービスおよび「Yahoo! JAPANカード」にかかわる債権の増加	
固定資産	2,149	2,191	42		
有形固定資産	271	288	17		
無形固定資産	149	111	-37		
投資有価証券	1,599	430	-1,169	BBモバイル(株)株式をソフトバンク(株)に売却	
長期未収入金	-	1,226	1,226		
資産の部合計	4,182	4,717	534		
<b>&lt; 負債の部 &gt;</b>					
流動負債	1,055	839	-215	募金の未払分や広告宣伝費等の経費にかかわる債務の増加	
未払金	130	155	24		
未払法人税等	471	334	-137	前期と比べて当期の中間納税額が多かったため	
固定負債	4	26	22		
負債の部合計	1,059	866	-193	資産除去債務に関する会計基準の適用	
<b>&lt; 純資産の部 &gt;</b>					
株主資本	3,075	3,811	736	配当金の支払いによる減少と純利益の計上による増加	
資本金	75	79	4		
資本剰余金	26	30	4		
利益剰余金	3,004	3,758	753		
自己株式	-30	-56	-25	ファーストサーバ(株)の完全子会社化に伴う買取請求に応じたため	
その他の包括利益累計額	20	12	-7		
少数株主持分	22	21	-1		
純資産の部合計	3,122	3,851	728		
負債純資産合計	4,182	4,717	534		



# 2010年度通期キャッシュ・フロー

主な項目	2010年4月-2011年3月	主な増減要因	単位: 億円
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>675</b>		
税金等調整前当期純利益	1,574	税引前当期純利益の計上	
減価償却費	98		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	11		
その他流動資産・負債	25		
法人税等の支払	-1,012		
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>116</b>		
定期預金の預入	-10		
有形固定資産の取得	-79	サーバー等設備の取得	
無形固定資産の取得	-26		
投資有価証券の取得・売却	-15		
株式の取得価額の調整	257	ソフトバンクIDCソリューションズ(株)株式取得時の税務処理が更正されたことによる減額修正	
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>-289</b>		
長期借入金の返済	-100		
自己株式の取得	-25		
配当金の支払	-166		
<b>キャッシュ・フロー増加額</b>	<b>502</b>		

# 2010年度第4四半期決算

## 当四半期末の主な連結子会社

(株)IDCフロンティア

(株)GyaO

(株)ネットラスト

ヤフーカスタマーリレーションズ(株)

ワイズ・スポーツ(株)

(株)インディバル

(株)シリウステクノロジーズ

ファーストサーバ(株)

ワイズ・インシュアランス(株)

## 当四半期末の持分法適用会社

(株)Eストアー

オリコンDD(株)

(株)クレオ

(株)たびゲーター

フォートラベル(株)

(株)オールアバウト

(株)クラシファイド

JWord(株)

バリューコマース(株)

(株)マクロミル



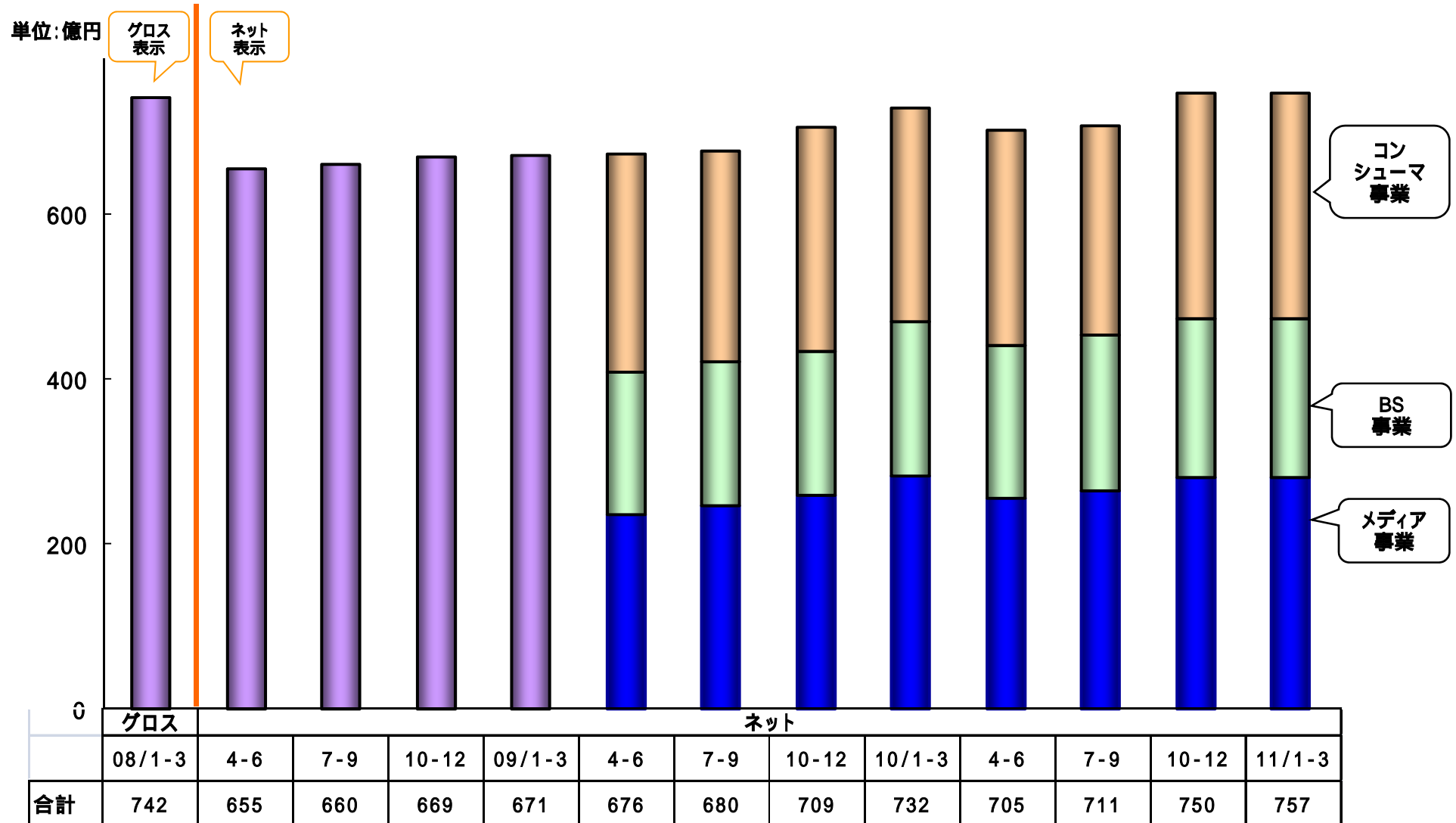
## 2010年度第4四半期損益計算書

	2009年度 第4四半期	2010年度 第4四半期	前年同四半期比
売上高 (億円)	732	757	3.5 %
売上原価 (億円)	78	73	-6.2 %
売上総利益 (億円)	653	683	4.7 %
販管費 (億円)	266	260	-2.4 %
営業利益 (億円)	387	423	9.5 %
経常利益 (億円)	386	427	10.4 %
四半期純利益 (億円)	233	243	4.3 %
完全希薄化後 EPS (円)	402	420	4.4 %
完全希薄化後株式数 (万株) *	5,806	5,801	-0.1 %

\* 完全希薄化後株式数は自己株式を除いています。



# 四半期売上高推移



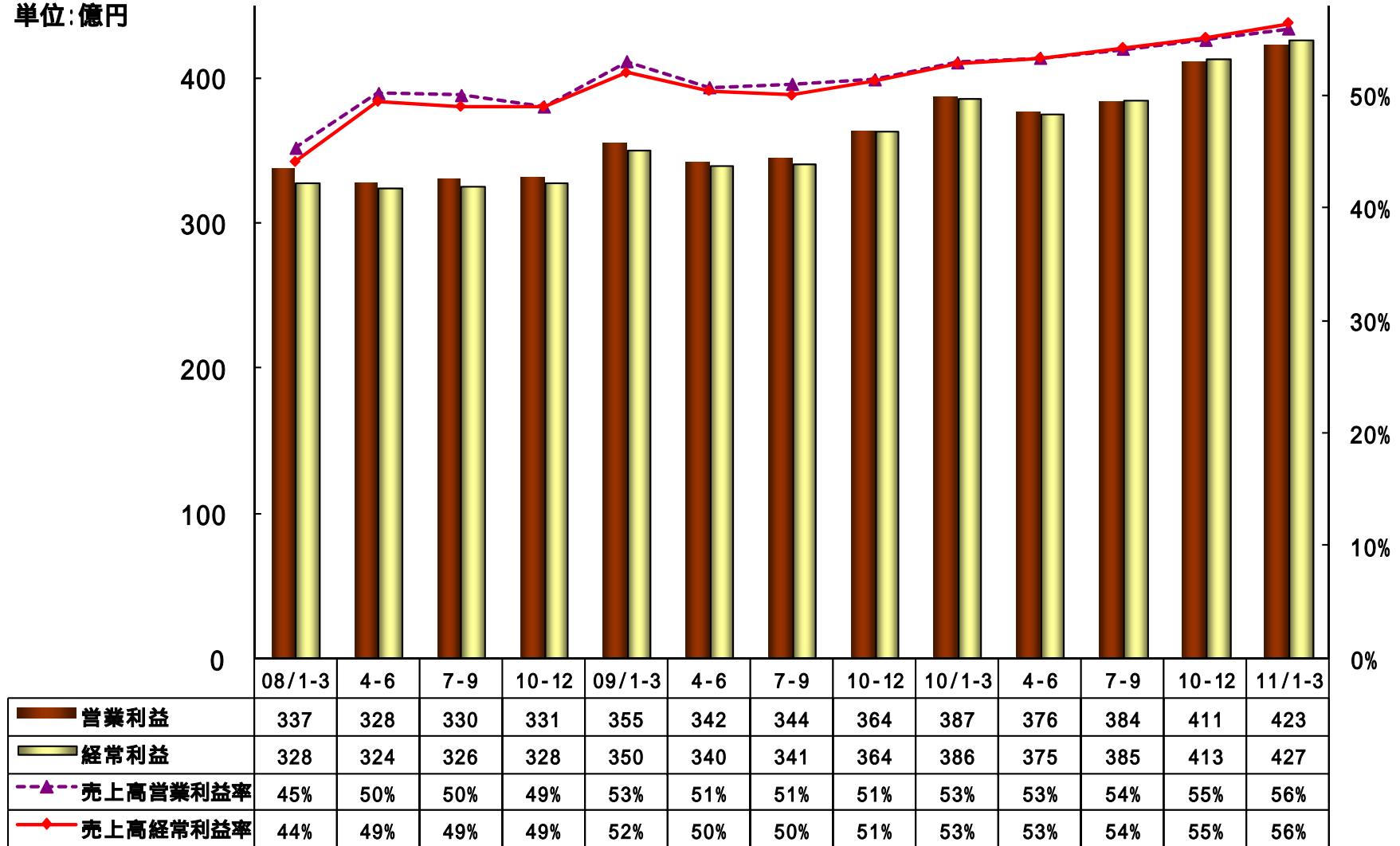
2008年1-3月のデータはグロス表示となっています。  
 2010年4-6月より、報告セグメントを「メディア事業」「BS事業」「コンシューマ事業」に変更しています。  
 尚、2009年度のセグメント別売上高の数値は遡及修正によるものです。





# 四半期利益推移

単位: 億円



2008年4-6月以降の各利益率は売上高をネット表示に変更したことによる影響を受けています。 **YAHOO!**  
JAPAN



# 2010年度第4四半期収益内訳

単位: 億円

	売上高	主な内訳		売上 総利益	販管費	営業利益	経常利益	営業 利益率	経常 利益率
メディア事業	300	広告関連 その他	98% 2%	271	105	165	167	55.2%	55.7%
BS事業	199	広告関連 法人向けサービス 情報掲載サービス	63% 24% 13%	158	51	106	107	53.6%	53.7%
コンシューマ 事業	257	コマース関連 会員サービス その他	57% 35% 8%	252	96	156	156	60.7%	60.7%

\*各セグメント売上高に含まれる商品項目については、P42をご参照ください。





## 販管費構成推移(四半期)

単位: 億円

	09/4Q	10/3Q	10/4Q	構成比	前四半期比 増減率	前年同四半期 比増減率
人件費	78	82	75	28.9%	-9.2%	-3.8%
業務委託費	32	33	35	13.6%	5.1%	10.7%
販売促進費	20	21	23	9.2%	13.3%	14.8%
減価償却費	23	21	23	8.9%	5.2%	-0.9%
ロイヤルティ	21	21	21	8.4%	0.7%	3.2%
通信費	23	20	18	7.3%	-8.2%	-17.8%
賃借料・水道光熱費	15	15	15	6.0%	1.2%	4.1%
情報提供料	15	16	14	5.7%	-6.9%	-6.0%
販売手数料	13	12	12	4.9%	3.7%	-2.6%
広告宣伝費	5	6	11	4.6%	80.4%	129.2%
維持管理費	5	5	5	2.0%	4.9%	-9.8%
租税公課	3	3	3	1.5%	28.4%	15.2%
事務用品費	0	0	1	0.5%	101.8%	85.7%
貸倒引当金繰入額	1	1	1	0.5%	-36.1%	-27.6%
その他	7	6	-5	n.a.	n.a.	n.a.
販管費合計	266	269	260	100.0%	-3.4%	-2.4%

主な前年同四半期比増減要因

保守・運用にかかわる費用の増加

検索連動型広告にかかわる  
販売促進費の増加

データセンターの自己保有により  
運用体制が効率化

テレビCMの実施

(株)IDCフロンティアの税務処理の  
更正処分に伴うのれんの  
減額修正。  
のれん償却額はマイナス6億円  
程度となった。

YAHOO!  
JAPAN



# 2010年度第4四半期貸借対照表

主な科目	2010年12月末	2011年3月末	増減	主な増減要因	単位: 億円
<b>&lt; 資産の部 &gt;</b>					
流動資産	2,134	2,525	391	営業活動による増加	
現金及び預金	1,475	1,886	411		
売掛金	361	369	8		
固定資産	2,187	2,191	4	BBモバイル(株)株式をソフトバンク(株)に売却	
有形固定資産	278	288	10		
無形固定資産	143	111	-32		
投資有価証券	1,638	430	-1,208		
長期未収入金	-	1,226	1,226		
資産の部合計	4,321	4,717	395		
<b>&lt; 負債の部 &gt;</b>					
流動負債	689	839	150		
未払金	151	155	4		
未払法人税等	151	334	182		
固定負債	22	26	3		
負債の部合計	712	866	154		
<b>&lt; 純資産の部 &gt;</b>					
株主資本	3,564	3,811	246		
資本金	77	79	1		
資本剰余金	28	30	1		
利益剰余金	3,514	3,758	244		
その他の包括利益累計額	17	12	-5		
少数株主持分	20	21	0		
純資産の部合計	3,609	3,851	241		
負債純資産合計	4,321	4,717	395		



# 2010年度第4四半期キャッシュ・フロー

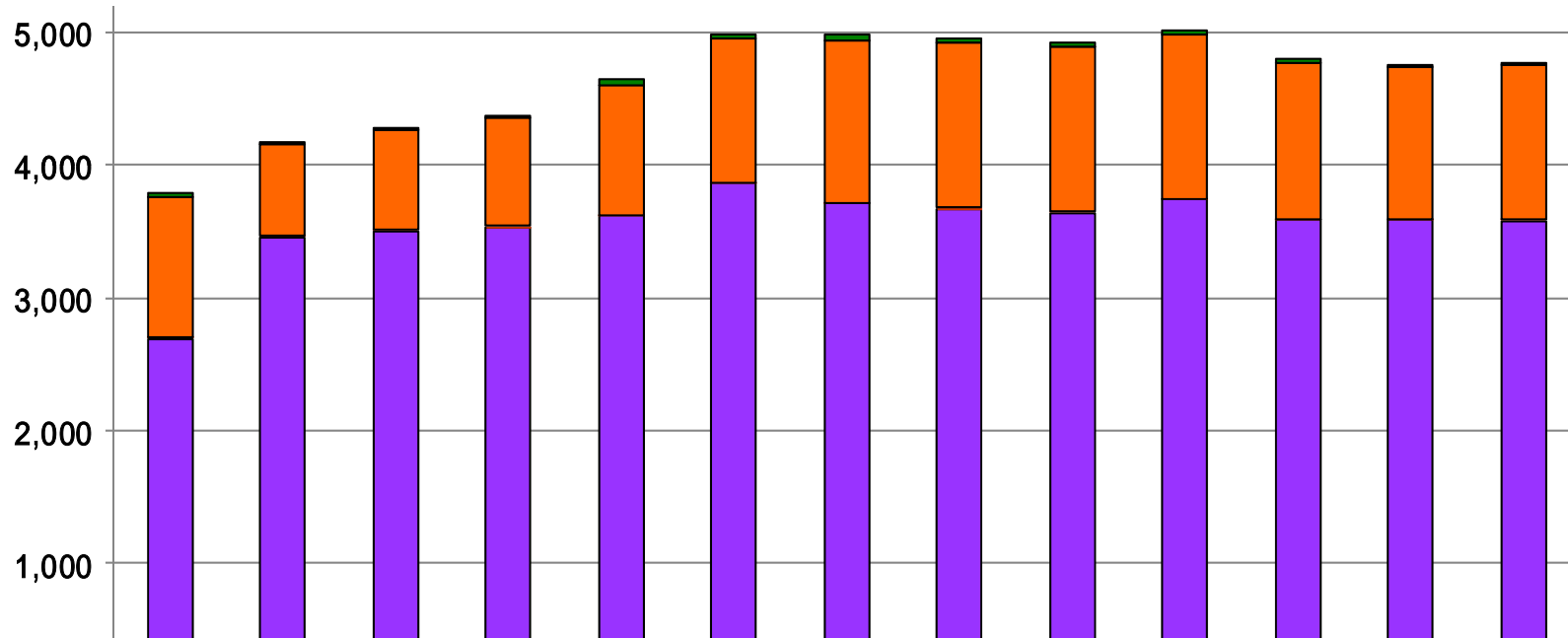
主な項目	2011年1-3月	主な増減要因	単位:億円
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>439</b>		
税金等調整前四半期純利益	424	税引前四半期純利益の計上	
減価償却費	26		
のれん償却額	-7		
その他流動資産・負債	19		
法人税等の支払	-12		
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>-30</b>		
有形固定資産の取得	-26	サーバー等設備の取得	
無形固定資産の取得	-12		
株式の取得価額の調整	9		
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>2</b>		
新株式の発行	2		
<b>キャッシュ・フロー増減額</b>	<b>411</b>		



# 役職員数推移

単位:人

(四半期末人員数)



上記の従業員数は出向者を含んでいます。



# 添付資料



# リスティング広告売上高の業界別シェア

広告売上高の増加額(前年同四半期比)が大きかった業界

各種人材サービス  
交通・レジャー  
ファッション・アクセサリ

広告売上高の減少額(前年同四半期比)が大きかった業界

金融・保険・証券(含消費者金融)  
各種教育サービス・大学

	09/4Q	10/1Q	2Q	3Q	4Q
金融・保険・証券(含消費者金融)	12.9%	12.6%	11.4%	10.6%	10.7%
交通・レジャー	7.3%	8.0%	10.5%	8.2%	8.2%
不動産・住宅・住宅設備	8.0%	6.1%	6.2%	6.0%	8.0%
百貨店、通販、ショッピングモール	6.4%	7.4%	6.1%	7.4%	6.8%
医療、福祉/美容、健康サービス	6.7%	7.0%	6.9%	6.2%	6.3%
化粧品、生活用品、健康食品、健康器具	6.1%	6.9%	7.1%	7.1%	6.3%
各種教育サービス・大学等	6.8%	6.1%	6.2%	5.1%	6.1%
情報処理サービス・ソフト会社、インターネット情報サービス	5.7%	5.1%	4.2%	6.1%	5.9%
ファッション・アクセサリ	3.9%	3.9%	4.6%	5.0%	4.7%
各種人材サービス	2.9%	3.0%	3.3%	3.1%	4.2%
自動車・関連品(輸送用機器)	2.8%	2.7%	2.8%	2.9%	3.3%
インテリア、ガーデニング、リフォーム、DIY用品	3.0%	3.1%	3.0%	2.9%	2.9%
その他	27.5%	28.1%	27.7%	29.4%	26.6%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

■ 2010年度より、分類カテゴリが変更になっています。2009年度のカテゴリ別売上高シェアは遡及修正しています。



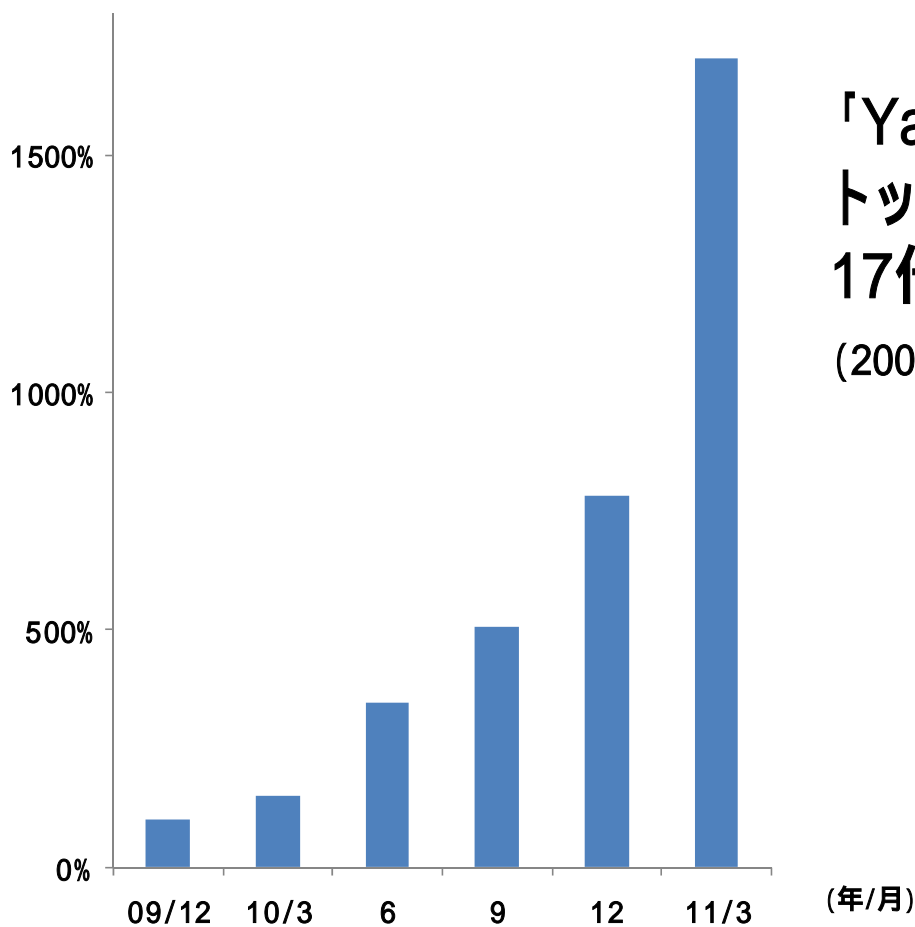
# Y! ディスプレイ広告売上高の業界別シェア

	09/4Q	10/1Q	2Q	3Q	4Q
<b>広告売上高の増加額(前年同四半期比)が大きかった業界</b> インターネット情報サービス・メールサービス 不動産・建設 化粧品・トイレタリー					
<b>広告売上高の減少額(前年同四半期比)が大きかった業界</b> 自動車・関連品(輸送機器) 飲料・嗜好品 ファッション・アクセサリー					
金融・保険・証券(含消費者金融)	15.6%	14.9%	16.8%	15.3%	16.1%
自動車・関連品(輸送用機器)	14.6%	14.0%	13.3%	12.6%	12.8%
不動産・建設	10.6%	9.6%	9.3%	8.0%	11.8%
交通・レジャー	7.6%	8.1%	7.2%	7.4%	7.6%
化粧品・トイレタリー	5.5%	8.8%	9.3%	7.9%	6.7%
移動体通信サービス	5.7%	3.4%	3.1%	4.7%	5.7%
インターネット情報サービス・メールサービス	3.0%	3.0%	3.7%	5.3%	5.0%
食品	3.6%	5.2%	4.5%	5.2%	4.8%
飲料・嗜好品	4.7%	5.3%	4.1%	3.7%	4.0%
コンピュータ・コンピュータ関連・事務機器	3.3%	1.6%	2.9%	2.7%	2.8%
ファッション・アクセサリー	3.3%	3.8%	3.6%	4.8%	2.8%
エンターテインメント系ソフト	1.8%	2.9%	2.9%	2.9%	2.6%
その他	20.7%	19.4%	19.3%	19.5%	17.3%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

■上記は広告内容により分類しています。

# Y! スマートフォン版「Yahoo! JAPAN」の利用拡大

## 「Yahoo! JAPAN」トップページ スマートフォンページビュー数推移



「Yahoo! JAPAN」  
トップページのページビューが  
17倍に増加した。  
(2009年12月比)

- \* 2009年12月を100として算出。
- \* アプリを利用した一部アクセスを含まない。



# 各種インターネット機器向けサービスの提供

## 各種機器の特性に合わせたサービスを構築



スマートフォン版「Yahoo! JAPAN」

スマートフォン向け対応サービス  
地図、路線、グルメ、道路交通、  
天気、地域情報、検索、ニュース、  
オークション、ショッピング、きっず 等

### スマートフォン向けアプリ

オークション、辞書、地図、路線情報  
あんしんねっと、メッセージ、  
きっず、リクナビNEXT、GyaO!、ヘッドライン、  
音声検索、トラベル、コミック 等



iPad向け「GyaO!」

### iPad向け対応サービス

コミック、yubichiz  
他、順次対応予定

### iPad向けアプリ

コミック、あんしんねっとHD、  
GyaO!、ビジネスブラウザ、  
音声検索、ジャンプSQ.D 等



テレビ向け「えほんのじかん」

### テレビ向け対応サービス

ニュース、天気、検索、動画チャンネル、  
テレビdeクッキング、よしもと見ホーダイ、  
えほんのじかん、ショッピング、  
オークション、映画、知恵袋 等





# スマートフォン/スマートパッド向け 主要アプリ

## iPhoneアプリ



Yahoo! JAPAN



Yahoo!辞書



ヤフオク



GyaO!



Yahoo!路線情報



Yahoo!リクナビ  
リクナビNEXT



Yahoo!地図



Yahoo!メッセージ



チエビジョン



Yahoo!きっず



Yahoo!  
あんしんねっと



ポッフィ



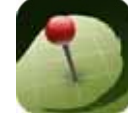
翻訳ルーベ



インフォルベ



シャカ地図



Sketch-a-Search



音声検索



Yahoo!  
ヘッドライン



ビジネスブラウザ



Yahoo!コミック



Yahoo!トラベル  
国内宿泊予約



ハーレクイン  
プラチナ



麺通  
旨いラーメンを探せ!



集英社 池上彰  
「そうだったのか! 現代史」



集英社 村山由佳  
「天使の卵シリーズ三部作セット」



ドラえもん  
日本全国  
スタンプラリー

## Androidアプリ



ヤフオク



Yahoo!トピックス



Yahoo!天気情報



Yahoo!ヘッドライン



Yahoo!検索



GyaO!



Yahoo!地図

## iPadアプリ



GyaO!



Yahoo!コミック



ビジネスブラウザ



Yahoo!  
あんしんねっとHD



音声検索



集英社 池上彰  
「そうだったのか! 現代史」



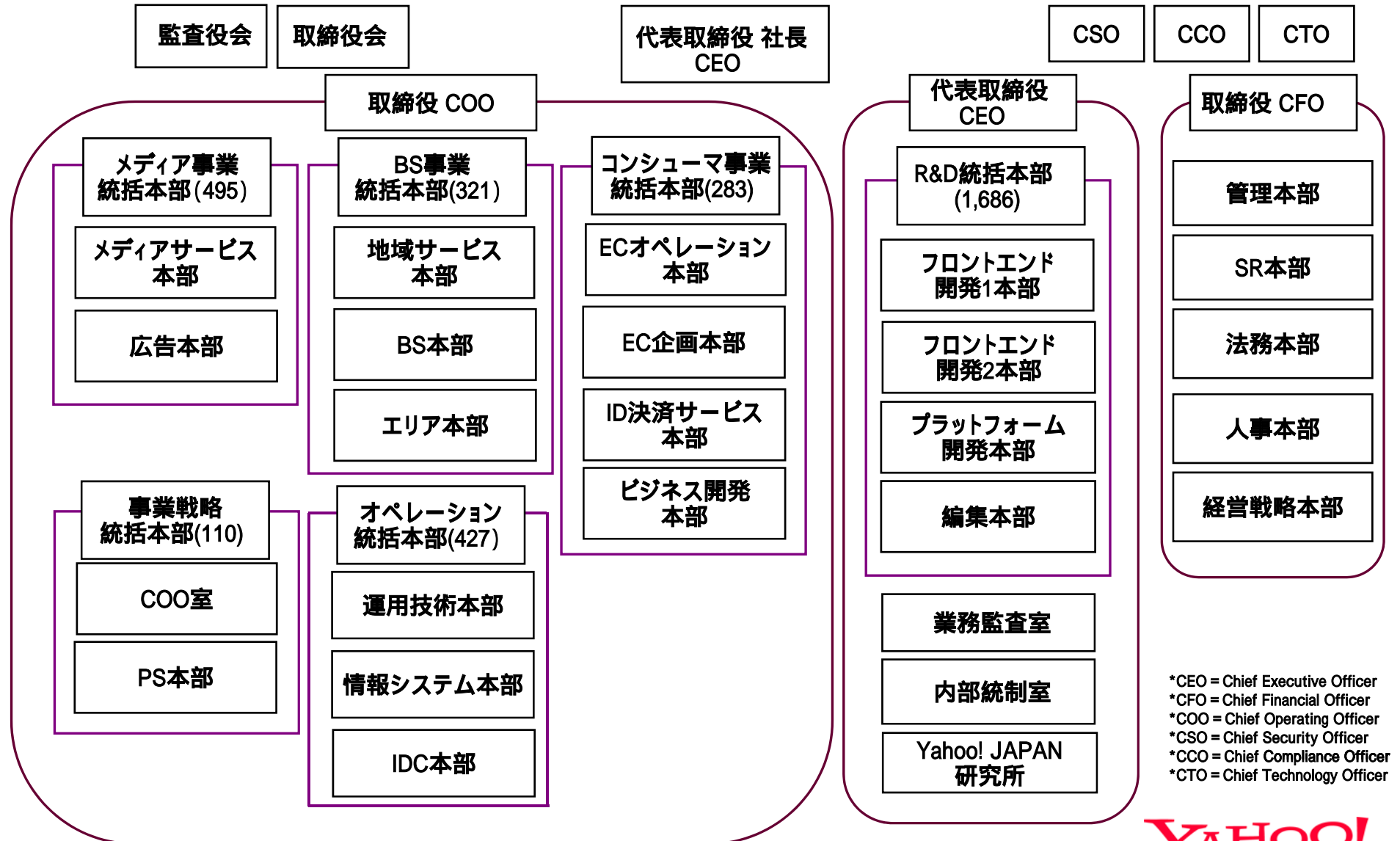
集英社 村山由佳  
「天使の卵シリーズ三部作セット」



ジャンプSQ.D



# 組織図(単体ベース)

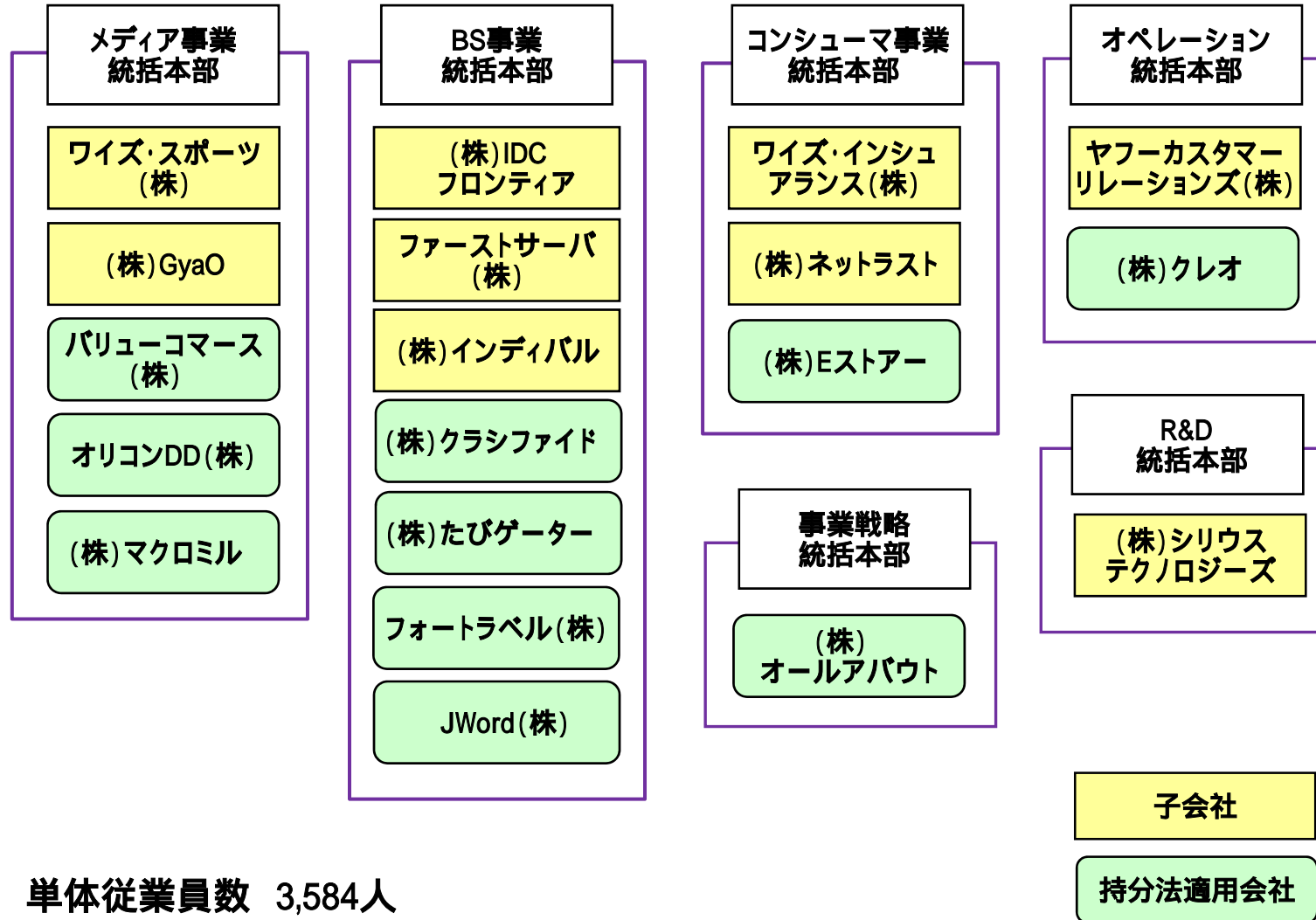


\*CEO = Chief Executive Officer  
 \*CFO = Chief Financial Officer  
 \*COO = Chief Operating Officer  
 \*CSO = Chief Security Officer  
 \*CCO = Chief Compliance Officer  
 \*CTO = Chief Technology Officer





# 主なグループ企業



単体従業員数 3,584人  
連結従業員数 4,748人 (2011年3月末現在)





# 各セグメントに含まれる商品項目 (新旧対照表)

## 旧セグメント

### 広告事業

- メディア事業 ディスプレイ広告(バナー、テキスト、メール、映像)  
リスティング広告(広告会社経由)
- BS事業 リスティング広告(オンライン経由)
- コンシューマ事業 ディスプレイ広告

### ビジネスサービス事業

- メディア事業 「Yahoo!リサーチ」等
- BS事業 データセンター関連  
「Yahoo!ウェブホスティング」  
「Yahoo!ビジネスエクスプレス」  
「Yahoo!不動産」、「Yahoo!リクナビ」等
- コンシューマ事業 「Yahoo!オークション」「Yahoo!ショッピング」  
ストアのテナント料・システム利用料  
「Yahoo! BB」インセンティブ等

### パーソナルサービス事業

- コンシューマ事業 「Yahoo!オークション」個人間取引の  
システム利用料  
「Yahoo!プレミアム」、「Yahoo! BB」ISP料金  
「Yahoo!パートナー」、有料デジタルコンテンツ等

## 新セグメント

### メディア事業

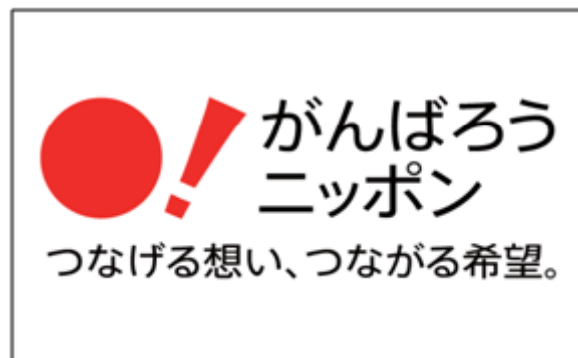
- 広告関連 ディスプレイ広告(バナー、テキスト、メール、映像)  
リスティング広告(広告会社経由)

### BS事業

- 広告関連 リスティング広告(オンライン経由)
- 法人向けサービス データセンター関連、「Yahoo!ウェブホスティング」  
「Yahoo!ビジネスエクスプレス」等
- 情報掲載サービス 「Yahoo!不動産」、「Yahoo!リクナビ」等

### コンシューマ事業

- コマース関連 「Yahoo!オークション」「Yahoo!ショッピング」の  
テナント料・システム利用料  
決済関連、有料デジタルコンテンツ等
- 会員サービス 「Yahoo!プレミアム」、「Yahoo! BB」ISP料金  
「Yahoo!パートナー」等
- その他 ディスプレイ広告、「Yahoo! BB」インセンティブ等



当グループのWeb上のIR情報は、以下のURLをご参照ください。

<http://ir.yahoo.co.jp/>